

—News Release—

2025年12月26日

## ワタミグループ RE100 達成に向けて、電力の現場を学ぶ取り組み ～風力・バイオガス発電施設を視察する ESD ツアーを開催～

ワタミ株式会社（東京都大田区）は、2025年11月16日～17日の2日間、グループの ESD※1（持続可能な開発のための教育）の一環として「2025年度 風車見学ツアー」を実施しました。外食事業、宅食事業、本部から計19名が参加し、風力発電設備およびバイオガス発電施設を視察することで、再生可能エネルギーへの理解促進と環境意識の向上を図りました。

### ■稼働13年を迎える、グループの RE100※2達成に向けた電力供給を担う風車を視察

見学先である秋田県にかほ市の風力発電設備「風民（ふうみん）」は、稼働から13年を迎え、ワタミグループの RE100※2の取り組みを支える電源の一つとして活用されています。当日は雄大な自然の中で稼働する風車を間近に確認し、発電の仕組みや保守管理、再エネの安定調達における役割について学びました。



秋田県にかほ市にあるワタミ夢風車「風民」



「風民」のふもとでの参加者の集合写真



株式会社ナチュラルエナジージャパン様での座学の様子

### ■ ミライザカ秋田駅前店の食品残渣を利用するバイオガス発電所を視察

本年度は、バイオガス発電に関する学びを強化するため、株式会社ナチュラルエナジージャパン様（秋田県）のバイオガス発電所を新たに視察先として追加しました。同施設では、8月より食品残渣の受け入れ契約を開始したミライザカ秋田駅前店の生ごみを原料とし、発酵処理によって生成されたメタンガスを用いて発電を行っています。

発電後に残る消化液の農地への還元を含む循環型の仕組みについても説明を受け、ワタミグループが推進する「再生可能エネルギーを利用した循環型6次産業モデル（ワタミモデル）」を現場で理解する貴重な機会となりました。

## ■ ESD※1を通じた学びを深化し、SDGs 日本一へ

ツアーの最後には、参加者による学びの振り返りを実施しました。風力とバイオガスという異なる再エネの現場を体験することで、環境負荷低減や循環型社会への貢献についての理解が深まり、ワタミグループが掲げる「SDGs 日本一」の実現に向けた意識醸成が一層進む結果となりました。

### ※1 ESDについて

Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

### ※2 RE100について

「RE100」は再生可能エネルギー100%を目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブです。再生可能エネルギーの使用は、企業にとってエネルギーコストの抑制だけでなく、CO<sub>2</sub>の排出削減目標達成などにも寄与が見込めます。加盟企業メンバーは IT から自動車製造まで、幅広い業種を含みます。「RE100」は、「The Climate Group（クライメイト・グループ）」が「CDP」とのパートナーシップの下で主催する、「We Mean Business」連合の一部です。

## ■ワタミ株式会社

【住 所】 東京都大田区羽田 1-1-3

【代表者名】 代表取締役会長 兼 社長 CEO 渡邊 美樹

【設 立】 1986 年 5 月

【事業内容】 国内外食事業、海外事業、宅食事業、農業、環境事業、人材サービス事業

【ホームページ URL】 <http://www.watami.co.jp>

### お問い合わせ先

ワタミ株式会社 ブランド広報室 ／ TEL : 03-5737-2784 ／ E-mail : [press@watami.net](mailto:press@watami.net)